

名古屋市立千代田橋小学校で「e-ネットキャラバン」開催。ドアラも参加

東海総合通信局(局長:吉武 久)は、令和元年12月17日(火)、名古屋市立千代田橋小学校(名古屋市千種区)において、「e-ネットキャラバン」(※)の協力企業である兼松コミュニケーションズ株式会社(ドコモショップ豊川店)とスターキャット・ケーブルネットワーク株式会社とともにインターネットの安心・安全な利用のための講座「e-ネットキャラバン」を開きました。講座には同校の5、6年生の児童120名の参加に加え、ゲストとして中日ドラゴンズ球団マスコット「ドアラ」も参加しました。

はじめに、当局電気通信事業課職員からインターネットの安心・安全な使い方とSNSやゲーム、動画などインターネットを使いすぎることによる「ネット依存」についてお話をしました。講座では「何時までインターネットを使っていますか」との質問に対して児童からは、午後10時過ぎても動画を見ているなどの回答があったことから、講師からインターネットは保護者と一緒に決めたルールに従って使うことの大切さを呼びかけました。

次に、ドコモショップ豊川店の松村氏からSNSを使ったいじめや情報の拡散などについてお話をしました。「SNSを用いた文字だけのコミュニケーションは、伝えたい内容が上手く伝わらないことがあるため、「ネットいじめ」につながったケースがある」「名前を書かずに他人の悪口をインターネットに載せたとしても調べれば必ず誰が載せたのか分かる」ことなどを紹介されました。

続いて、スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社の宮内氏と得重氏からネット詐欺、なりすまし・誘い出し、個人情報漏洩などインターネットを使った犯罪事例とその対策についてお話をしました。「SNSで知り合って実際に会ったことのない友達は、年齢や性別、本当の気持ちを「なりすまし」していることがある。その友達に誘われて実際に会って、トラブルに巻き込まれるケースが後を絶たない。これは非常に危険な行為だ」と力説されました。

最後に、当局電気通信事業課職員から「インターネットのトラブルに巻き込まれて困ったときにはどうしたらいいと思いますか」との質問に対し、ゲストの「ドアラ」が「保護者、学校の先生、親しい友達に相談する」と回答。児童は一人でインターネットのトラブルを抱え込まないことの大切さを学びました。

東海総合通信局では、今後も引き続き、「e-ネットキャラバン」を活用してインターネットの安心安全な使い方について啓発していくこととしています。

※ 「e-ネットキャラバン」とは、子どもたちがインターネットを安心安全に利用できるよう、「小学校3年生から高校生まで向け」及び「その保護者、教職員等向け」に全国で実施する「出前講座」です。
平成30年度は全国で2,529講座、当局管内で403講座を開催しています。
今年度(12月末現在)は、全国で2,665講座、当局管内で423講座(過去最多の講座数)を開催しており、来年度の講座申込についても既に始まっております。



講座の様子



会場の様子

お問い合わせ先：電気通信事業課
052-971-9347